

修了生の「わたしとしごと」

各校を修了後さまざまな職についた修了生に聞いた、現在の「わたしとしごと」。

大工技術や知識を活かしていると実感。

学校見学に行き、大工の技術や知識を身につけたいと思い入校を決めました。学校では、手ノコや墨つぼの使い方など様々な手道具について学べたおかげで、実際の建築現場で知識が活かしていると実感しています。

就職先：
株式会社東栄住宅
ものづくり大学校
建築コース
2024 年度修了生



繰り返しの練習のおかげで仕事がスムーズに。

興味のあった自動車钣金塗装をイチから勉強してみようと思入校。仕事では車の部品の脱着作業や、钣金工具を使用しての車のへこみ修正やパテ付作業をしています。学校で繰り返し練習をさせてもらったおかげでスムーズに仕事ができていると思います。

就職先：
兵庫ダイハツ販売株式会社
ものづくり大学校
塗装コース
2024 年度修了生



学んだ旋盤技術で遺憾なく発揮。

仕事のほとんどは旋盤作業で、横軸ボール盤や小型旋盤でロールの粗加工などの作業を担当しています。学校で学んだ旋盤の知識と技能を使うことで新しく覚える操作がある時でも直ぐに対応できたので旋盤を学んでいて良かったなと思いました。

就職先：
虹技株式会社
但馬技術大学校
機械工学科
2024 年度修了生



新たな挑戦でレースの社内代表に。

何か新しいことに挑戦したいと思い、入校しました。現在店舗での仕事は法定点検やエンジンの載せ替えなど様々な部品の交換作業をしています。また、社内を代表してスーパー耐久レースに参加しています。

就職先：
神戸トヨペット西宮店
但馬技術大学校
自動車工学科
2021 年度修了生



いつか調理の仕事に小学生からの夢を実現。

定年後のセカンドライフは小学生の頃に就きたかった調理の仕事がしたくて入校しました。本格的な設備で衛生管理の知識や原価を意識し食材ロスを減らすなど実践的な内容は今の仕事に通じるものがあります。

就職先：
株式会社神戸ポートビアホテル
神戸高等技術専門学院
給食調理コース
2024 年度修了生



気になっていたものづくりの世界へ。

正社員になるために何らかの知識や経験を身につけたいと考えて入校しました。機械加工の業務においては学院で学んだことが活かされており先輩方に確認してもらいながら問題なく仕事に取り組むことができています。

就職先：
有限会社田中工作所
神戸高等技術専門学院
CAD/CAM 加工コース
2024 年度修了生



自分のペースでステップアップできた。

高校卒業後の就職には不安がありました。そんな時、自分に合った環境で就職に必要な知識やスキルを学べるところに魅力を感じ応募しました。就職活動実践指導などで学院で学んだ多くが業務に活かされています。この1年がなければ今の私はいなかったと確信しております。

就職先：
株式会社スタッフサービス・クラウドワーク
障害者高等技術専門学院
ビジネス事務科
2024 年度修了生



「丁寧に正確に。」を常に意識して取り組むように。

社会の事や一般常識を取得したい気持ちと周囲の人からの勧めもあり入校を決意しました。学院では指示を守ることの大切さを熱心に教えていただきました。また、体育の基礎トレーニング授業の成果があり、フルタイムで働いても疲れにくい体力ができました。

就職先：
株式会社メディスクット
障害者高等技術専門学院
総合実務科
2024 年度修了生



寮生活で自立し、自信がついた。

親元を離れ寮生活をする中で精神的自立と自信をつけたいと思い入校しました。職場ではコミュニケーションがとれ、質問をしながら仕事に取り組むことができております。現場チーフからも業務が格段に向上してきていると言ってくれています。

就職先：
日清医療食品株式会社
兵庫障害者職業能力開発校
キャリア実務科
2024 年度修了生



集中力・根気を養えたのも良かった。

授業についていけるか、どんな雰囲気なのか不安もありましたが、訓練校でのコミュニケーションや事務処理実習での繰り返し作業で学んだことで今の仕事で必要な集中力、根気を養えたため非常に良かったと思っています。

就職先：
株式会社ヒガシ 21
兵庫障害者職業能力開発校
キャリア実務科
2024 年度修了生



公共職業能力開発施設について

ものづくり大学校 / 但馬技術大学校 / 神戸高等技術専門学院 / 障害者高等技術専門学院 / 国立県営兵庫障害者職業能力開発校

就職や転職を希望している人が、
仕事に必要な知識・技能を学べる学校です。

■ 入校までの流れ

ハローワークへ相談 → 願書等入手 → 願書等提出 → 選考(筆記・面接) → 合格 → 入校

※1 ただし、高等学校を新たに卒業される方は、在学する高等学校長へ、大学等を新たに卒業される方は、直接公共職業能力開発施設にご相談ください(推薦入学、障害者職業能力開発施設を除く)。 ※2 一部筆記試験を行わない場合があります。

■ 授業料

原則
無料

- ・テキストや作業服代は自己負担です。
- ・但馬技術大学校の2年課程コースのみ、授業料・入校審査料及び入校料の負担があります。(授業料の減免制度あり。)

【授業料】118,800 円 / 年 【入校審査料】2,200 円 【入校料】5,650 円

各コース一覧

●ものづくり大学校(姫路市)

コース名	定員	対象	入校月	期間
溶接コース	15人	18歳以上※1	4月	1年
塗装コース	15人	18歳以上※1	4月	1年
機械製図・工作(デュアル)コース	15人	概ね55歳未満	4月	1年
住宅設備コース	15人	18歳以上	4月	1年
建築コース	15人	18歳以上	4月	1年
CAD コース	20人	18歳以上	4,10月	6か月
産業技術資格コース	15人	18歳以上	4,10月	6か月

●神戸高等技術専門学院(神戸市西区)

コース名	定員	対象	入校月	期間
インテリアリフォームコース	15人	18歳以上	4月	1年
CAD / CAM 加工コース	15人	18歳以上	4月	1年
ものづくりオフィスワークコース	20人	18歳以上※2	4月	1年
電気制御コース	15人	18歳以上	4月	1年
印刷総合技術コース	15人	18歳以上	4月	1年
給食調理コース	20人	18歳以上※3	4,10月	6か月

※1 18 歳未満の求職者も一部応募可能。 ※2 新規高卒者を除く、義務教育課程までの子育て中の方を優先。 ※3 新規高卒者を除く

●但馬技術大学校(豊岡市) ※寮完備

コース名	定員	対象	入校月	期間
建築工学科	20人	高卒以上	4月	2年
機械製造学科	20人	18歳以上	4月	1年
自動車工学科	20人	高卒以上	4月	2年

●障害者高等技術専門学院(神戸市西区)

コース名	定員	対象	入校月	期間
ビジネス事務科	10人	身体障害者等	4月	1年
総合実務科	15人	知的障害者	4月	1年
Jobサポート科	5人	精神障害者	4,10月	6か月
キャリアチャレンジ科	7人	発達障害者	4,10月	6か月

●国立県営兵庫障害者職業能力開発校(伊丹市) ※寮完備

コース名	定員	対象	入校月	期間
OA事務科	20人	身体障害者等	4月	1年
オフィスワークCAD科	15人	身体障害者等	4月	1年
総合実務科	15人	知的障害者	4月	1年
ビジネス実務科	5人	精神障害者	4,10月	6か月
キャリア実務科	15人	発達障害者	4月	1年



<問い合わせ先>
兵庫県産業労働部能力開発課 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
TEL 078-362-3367 FAX 078-362-3951

各校へのリンクを
まとめたページはこちら



職業訓練のご案内
(兵庫労働局)



兵庫県・公共職業能力開発施設紹介 | フリーペーパー

ME & WORK

2026年度
[わたしとしごと]
by Hyogo Prefecture



「私と仕事」について、
ゆっくり見つけてみませんか。

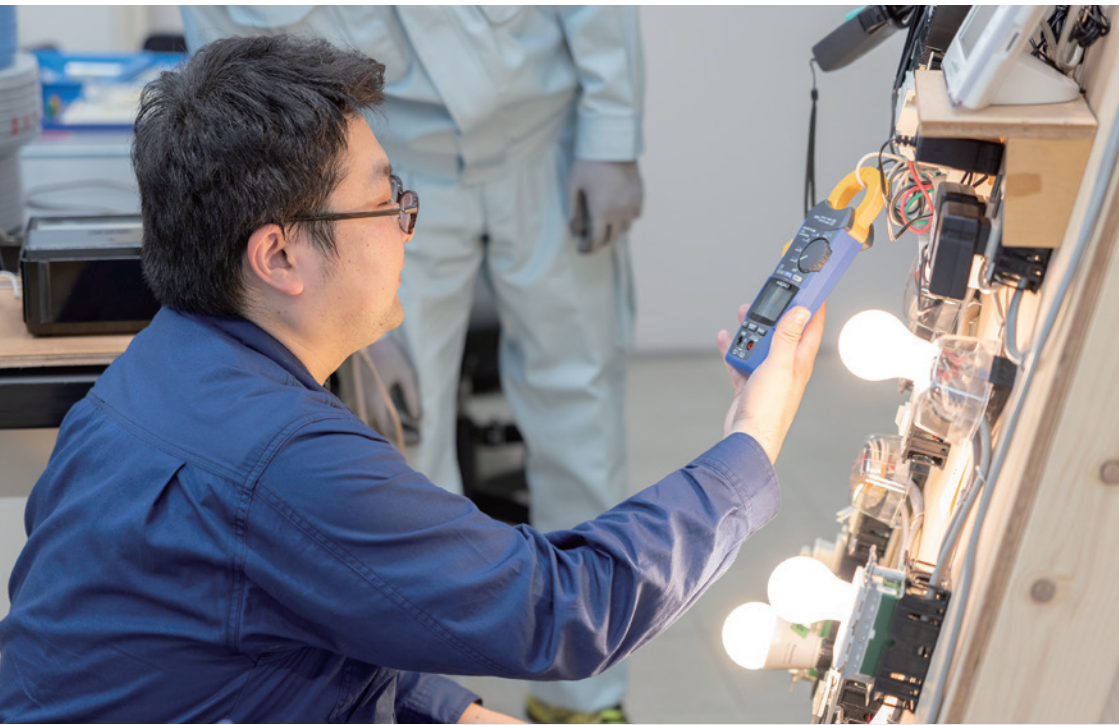
まるごと一軒分の家の建築に挑戦できる学校があります。自動車の部品を分解して構造から学べる学校があります。大企業と同じ機械を使って部品づくりができる学校もあります。公共職業能力開発施設は、就職するためだけでなく、就職してからも磨いていけるスキルを学べる場所。

ものづくり大学校 / 但馬技術大学校 / 神戸高等技術専門学院 / 障害者高等技術専門学院 / 国立県営兵庫障害者職業能力開発校

どんなところ？ 公共職業能力開発施設

【神戸市】神戸高等技術専門学院 | 電気制御コース ● 実習レポート

家屋をイメージした大きなパネルで設計・配線を体感



電気工事士になるための知識と技能を習得できる、電気制御コース。分電盤を使った実習の様子をレポート。

量一量分ほどの大きなパネルに、分電盤と電気配線。家屋をイメージしたこのパネルは、電気が家や建物の中でどのような役割を果たしているのかを学習できる。訓練生が電線を用いて各部品間を結線し、テスターで導通を確認、電源を投入して設計通りの動作をするか入念にチェックしている。「配線ミスを防ぐために作業を丁寧に行うことが重要なポイントなんだって体感しました」とぼつり。パネルの中央のモニターで、エネルギーをどの程度使っているか、太陽光発電の量なども週単位、月単位

で確認することもできる本格的なシステム。慣れない手つきでパネルに向かう訓練生だが、表情はともいききとしている。「初心者でも分かりやすく学べる環境づくりを心がけているんです」と話すのは前川指導員。「電気制御コースの大きな特徴は、1年間で電気に関する基礎的な知識と技能をすべて習得できる点。複雑な計算や理論よりも、組み立てや配線といった実作業がメインだから、想像以上に取り組みやすい内容です。最終的にはぜひ電気工事士の資格取得に挑戦してほしいですね」。

インテリア
リフォームコース
壁紙を貼る実習。柄が繋がるように真剣な表情で集中中。



ものづくり
オフィスワークコース
授業中も休憩時間も笑顔の絶えない明るい雰囲気。



他にもこんなコース



松谷 一葉 専門員
臨床検査技師からそのキャリアをスタートし、知的障害分野で12年、現学院で6年目を迎える。



品出し、ヘッドメイク
の実習風景。どちらも正確さや丁寧さが求められる。



【伊丹市】国立県営兵庫障害者職業能力開発校
総合実務科 ● 実習レポート
部分的な作業ではなく、自分の作品として最初から最後まで仕上げる
実技訓練の一環として週に一度ある、陶芸実習。作品づくりに熱中する訓練生たちをレポート。

板状に伸ばした粘土を組み合わせて成形する「たたら」という技法。電動ろくろを使わずに、手作業で直線的な形や自由な形の作品を制作するのに適している。「粘土を手でよく練り、含まれる空気を抜きました。ここがとても難しいんです」と訓練生。土の練り不足や水分のかたより、空気抜きが不十分さ、厚みの不均一など原因を振り返り、改善していく。何度やっても自分が思うようには仕上がらないことも。失敗を振り返りながら技術を向上させることが重要だそう。完成した作品は技能フェスタなどで販売。自分の作品が評価されることで、訓練生のモチベーション向上にもつながっている。加藤指導員



実習で制作した作品

公共職業能力開発施設って、どんなイメージでしょうか。名前が硬いし、近寄りたがい？いえ、そんなことはありません。県内5校をもっと身近に感じられる実際の様子をお届けいたします！



中島 昭光 指導員
自身は民間出身で、総合建設業、建設資材卸業の建築分野に携わり、現場管理者、職人、営業、事務方といった多様な実務経験を持っている。



真っ直ぐな眼ざしで鋸やインパクトドライバーを駆使して材木に向き合う訓練生。心から楽しんで学ぶ姿が見てとれる。「内気でコミュニケーションが苦手だった子達が、自分の意見もしっかりと表現できるようになるんです」と、訓練生の成長を語る中島指導員。指導で心がけていることは、個性を否定せず、その特性を活かすこと。「現場経験を活かし、学生が社会で即戦力となるよう指導していま

す」。現場はアットホームな雰囲気、訓練生も指導員を「兄貴」のように慕っている。「勉強だけでなく、人とのつながりを大切にすることの意義も伝えていきます」。業界の、そして訓練生の将来を見つめる「兄貴」の目は限りなく優しくあたたかい。「多くの修了生が建設業に携わり、業界全体を発展させていくこと、そして楽しく仕事をに取り組んでくれることを願っています」。

整備 検査、診断技術はもちろん、ここにしかない設備での授業も魅力です。写真のシャシダイナモ（シャシダイナモーター）とは、燃費、排出ガス、動力性能などを測定する装置のことで、訓練生はこの装置を使って実習を行います。



他にもこんなコース

自動車工学科

【姫路市】ものづくり大学校 | 産業技術資格コース ● 修了生インタビュー

「短期間で効率的な勉強習慣が身についた」

鉄工や物流の業界で必要な11の資格と、溶接を中心としたものづくりの技能が学べる「産業技術資格コース」。修了生に聞いた、在学中と就職後の現在。



藤岡 秀成 さん
新設された「産業技術資格コース」の2024年度前期生。修了後の2024年12月に合同製鐵株式会社に入社。

コース修了後、合同製鐵株式会社に入社した、藤岡さん。「出荷する製品の検査と仕上げを行い、後工程へ引き渡す業務に携わっています。最も重要なのは製品に傷がないか、見落としがないかという点で、正確さと注意力が常に求められます。扱う鉄の成分や種類によって検査レベルが異なるので、細心の注意を払い、品質管理を徹底しています」。就職支援の一環としてもものづくり大学校の産業技術資格コースを紹介され入校。

同期3名と共に学び、修了まで励まし合った。「溶接は未経験でしたので、鉄が溶けるタイミングや溶接の難しさを実感しました。半年という短い期間で、資格取得のために勉強する習慣が身についたことが最も良かった点です。短期間で効率的な勉強習慣が身につにつき、その後の資格取得にも役立っています。多様な学びと資格取得の機会があるので、新しいキャリアを築きたい人や異業種からの挑戦者におすすめできるコースです」。

コースの実習風景



▲塗装、溶接など…実践的で多種多様なカリキュラムが組まれています。

「訓練中にいろんな経験を積んでもらって社会に出る力を養います。社会経験の少ない生徒が多いですが、就職後は大きく成長し、表情も変わり、しっかりした大人になっていきます」。ベッドメイクではお互いに手順を確認し合い、くみひもの実習では一つ一つの工程をゆっくり丁寧になしていく。訓練生の表情からは自信もうかがえる。「就職はゴールではなくスタートと捉え、長く働ける力を身につけられることを目指しています。1年間の訓練期間でどれだけその力が養えるか。そこは指導員みんな意識をしています」。修了生の就職後の定着支援にも丁寧に向き合う。本人の自己理解を深め、自分の特性やサポートの必要性を就職した企業に伝えられるよう指導している。「生徒の中には自身の障害を受け入れられない人もいますが、受け入れられないとしても理解を深めることが大切だと思います」。

「就職はゴールでなくスタート。だからこそ、長く働く力を身につけてほしい」
知的障害分野で多くの経験を積む、松谷専門員。訓練生や修了生への想いを伺いました。